

エコドライブ レポート



- 企画・制作：(財)公害地域再生センター(あおぞら財団)
- 協力：河北地域エコドライブ推進研究会
- デザイン・イラスト：(株)バード・デザインハウス

「待ったなし」の地球温暖化防止対策

運輸・交通部門のエネルギー消費の36%を占めるトラック。省エネ対策の有効な手だてのひとつとしてエコドライブが成果を上げています。株式会社つばめ急便もそのひとつ。「エコ」に取り組む現場を訪ねてみました。

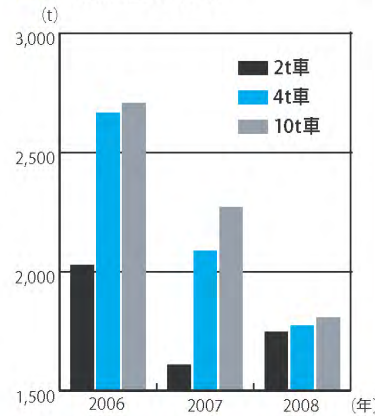


モリイ記者

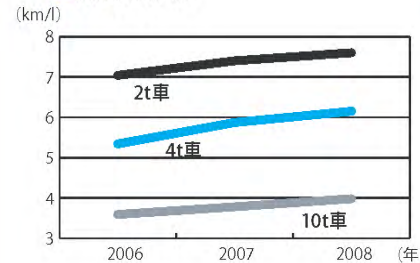
CO₂3年間で619t削減

2006年から3年間の取り組みで、619tのCO₂を削減しています。
つばめ急便がエコドライブに興味を持ったのは2005年、大阪府トラック協会河北支部がよびかけた「中小運送事業者へのデジタルタコグラフの組織的導入によるエコドライブ推進事業」(NEDO助成)に応募して、10台のデジタルタコを導入するとともに全社で取り組みを始めました。大阪大学の新田保次研究室の協力を得てつくった「河北地域エコドライブ推進研究会」にも積極的に参加しました。

CO₂排出量の推移



燃費の推移



目標掲げて燃費向上

この間、燃費の向上にも車両ごとに目標(ベンチマーク)を決めて取り組んでいます。ドライバーと一丸となった取り組みで、燃費も全車両で毎年良くなっています。しかも、省エネ運転は安全に直結しています。

エコで地球の未来を考える

環境にやさしい「つばめ」

全車にデジタルタコグラフ～エコ・安全システムの構築

「安全・品質・環境」で業界ナンバーワンをめざす「つばめ」。2009年には、エコ・安全ドライブに取り組むドライバーをサポートするしくみづくりをスタートさせます。



「安全・品質・環境」の取り組みを支えるのは、第一線で活動するドライバー。安全第一の行動ができるよう、安全教育はもとより、常日ごろの点呼からドライバー目線で具体的に伝えることを大切にしています。また、ドライバーとのコミュニケーションを大切に、リーダーの育成にも力を注いでいます。



優良者の表彰の様子

とにかく

「つばめ」は実践派

安心・安全は基本です

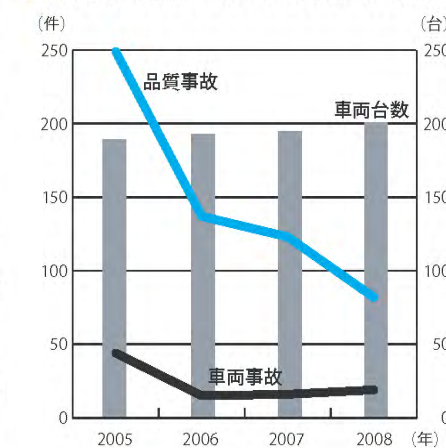
荷物にやさしい「つばめ」

交通事故・行政処分 ゼロ継続中

高速道路は80km/h、一般道路は法定速度の遵守を徹底、車両事故も品質事故もゼロをめざして活動中です。この間の努力もあって、2005年から2008年にかけて車両、品質事故とも大きく減少しており、2003年からは交通事故、行政処分ともゼロ継続中です。安全性優良事業所認定(Gマーク)にも全事業所(10)取得をめざしており、現在7事業所が取得しています。(平成20年度6、平成21年度1)グリーン経営も9事業所で取得しています。また、プライバシーマーク認定事業者です。



車両事故と品質事故、車両台数の推移



安全に繋がる「エコ」

4年前はあまり知られていなかったエコドライブに参加して全社で40%の燃費改善ができた。最近、交通事故も行政処分もゼロが続いており、「エコ」が安全に繋がっているのがうれしい。燃料の高騰もあって、エコドライブに取り組んでいなかったら、もっとしんどくなっていただろう。車種別に目標を決めて取り組み、半年ごとに優良者を表彰して励ましている。

取締役社長 石原 修

ドライバーの誇りを育てる

人にやさしい「つばめ」

つばめ急便のみなさんです！
まだたくさんいらっしゃいますが今回は全社員を代表して大阪ベーターミナルのみなさんに写っていただきました。前列左から5人目が社長さんです。

